



# 共に築く未来への架け橋 みどりの南中

南中だより第13号

【本校の教育目標】

自立・探究・共生

令和6年度 翠輝学園

つくば市立みどりの南中学校

令和7年1月31日発行

## 学校評議員会からのご指導を活かして

校長 ○○ ○○

厳しい寒さがようやく峠を越え、少しずつ春の気配が感じられるようになってきました。みどりの南中では、生徒たちは元気に学校生活を送っています。1月には、薬物乱用防止教室やスキー宿泊学習など、様々な行事が行われました。これらの行事を通して、生徒たちは多くのことを学び、成長したと思います。

さて、1月20日(月)に第2回学校評議員会が行われました。

学校評議員会では、貴重なご意見を多数いただきました。「授業中」の生徒のつぶやきが減少傾向にあるとのご指摘を受け、生徒が主体的に発言しやすい授業環境づくりを一層推進してまいります。一方、「学級活動」におけるルールメイキングの手法は、高く評価いただきました。この取り組みを他教科にも展開し、生徒の自治性を育ててまいります。また、「学校だより」への生徒コーナー設置のご提案を受け、生徒の視点や活動を積極的に発信する場を設けたいと考えております。「生徒指導」においては、多角的なアプローチを取り入れ、生徒一人ひとりに寄り添った支援を充実させてまいります。授業に集中できる環境整備、行事の映像配信や資料配付による情報共有、学力二極化への取り組み状況の発信、担任との連絡手段の多様化(リーバー以外も含む)など、具体的な改善策を検討し、学校運営に反映させてまいります。貴重なご意見、誠にありがとうございました。

\*\*\*\*\*

## 7学年 共同生活学習(スキー教室)を終えて



1月23日(木)~25日(土)の2泊3日、7年生は群馬県水上高原ホテル 200にて共同生活学習(スキー教室)を実施しました。天候にも恵まれ、雄大な自然の中でスキー講習を通して、生徒たちは技術の向上だけでなく、仲間と協力し、励まし合うことの大切さを学びました。『初日』は開講式後、早速スキー講習①に臨み、慣れないスキーに悪戦苦闘しながらも、果敢に挑戦する姿が見られました。『2日目』は午前・午後と講習を重ね、上達していく喜びを分かち合いました。レクリエーションでは、親睦を深め、思い出に残る時間を過ごしました。『最終日』は、講習の成果を確認するスキー講習④と閉講式を行い、充実した3日間を締めくくりました。この経験を通して、**生徒たちは集団生活における規律や他者への思いやり、目標に向かって努力することの大切さを改めて認識できたこと**と思います。この学びを今後の学校生活に活かしてくれることを期待しています。

## 令和7年度 新7年生徒保護者対象進級説明会

令和6年度  
みどりの南中学校新7年生進級説明会



1月28日(火)、令和7年度に本校へ進級予定の新7年生とその保護者の皆様を対象とした進級説明会を開催いたしました。当日は、校長挨拶に始まり、中学校生活の概要、学校生活のきまり、制服や自転車通学について、SCC(部活動)、保護者支援組織「すいハピ」

などについて説明を行いました。説明会には、**生徒会役員も参加し、中学校生活についてプレゼンテーションを行う場面もありました。**その後、授業参観を行い、中学校の授業の様子を実際に見ていただきました。説明会後には、SSW(スクールソーシャルワーカー)からのお話と質疑応答の時間を設け、保護者の皆様の疑問や不安にお答えしました。

## 第8学年 薬物乱用防止教室の実施!



1月20日(月)の5校時、第8学年を対象に薬物乱用防止教室を実施しました。今回は、あけぼの薬局メディカル店の学校薬剤師、○○○先生を講師にお迎えし、医薬品の適正な使い方から、飲酒・喫煙の害、違法薬物の危険性、オーバードーズの恐ろしさまで、幅広くご講演いただきました。

**生徒たちは、薬物が心身に及ぼす影響だけでなく、社会にも深刻な影響を与えることを学び、真剣な表情で関先生の話に耳を傾けていました。**今回の教室を通して、生徒一人ひとりが薬物乱用について正しい知識を身につけ、健全な生活を送るための意識を高めてくれることを期待しています。

## コミュニティ・スクール導入へ ③

第10号よりお伝えしている次年度に迫ったコミュニティ・スクールの導入について、第3回目になる今号ではコミュニティ・スクール設置の魅力について紹介していきたいと思ひます。

○子どもたちの学びや体験活動が充実します。

例: ゲスティーチャーの充実、教育活動に参加できる人材の発掘

○地域の人々の理解と協力を得た学校運営が実現します。

例: 共同立案による学校ランドデザインの作成

○地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります。

例: 地域の民生委員・児童委員や、SCC(部活動)との連携

○学校を中心とした地域ネットワークが形成されます。

例: 学園内保護者支援組織(谷南小PTA・すいハピ)の協働

## 2月の生活目標「感謝の気持ちを伝え合おう」

2月は「感謝の気持ちを伝え合おう」を目標に、周りの人々への感謝を意識する月にしたいと思ひます。私たちは日々、家族、先生、地域の方々など、多くの人に支えられています。その支えは当たり前ではなく、温かい善意によるものです。

感謝の表現は様々です。「ありがとう」と伝えることはもちろん、手紙や日頃の行いでも示せます。例えば、毎日の食事に「ありがとう」、丁寧に教えてくれる先生に「ありがとうございます」と伝えてみましょう。家の手伝いや困っている人を助けることも、感謝の表現です。感謝を伝えることは、**人間関係を良くするだけでなく、自分自身も豊かにします。**感謝の気持ちで満ちた学校は、温かく活気に溢れます。

ご家庭でも、お子様と一緒に「ありがとう」の言葉をたくさん交わし、感謝の気持ちを育てていただきたいと思います。

生徒指導担当より